

## 東京大学陸上運動部の紹介

### 1. 歴史

- 1887年 明治維新から20年目の年に創部  
(明確な年月日の記録はないが、この年に第1回帝国大学運動会が開催され、後年の帝国大学新聞の記事に「1887年以来・・・歴史を維持したる陸上部」の記述がある。当時は本郷キャンパスに練習場があった)  
本年、創部130周年となる。
- 1924年10月26日 男子第1回東大対京大対校戦開催(於京大グラウンド)  
以後1944～47の中断をはさみ、本年第90回を迎える
- 1935年 現在の駒場キャンパスに新グラウンドが誕生
- 1976年 初の女子部員加入(進藤敬子)
- 2002年10月12日 女子第1回東大対京大対校戦開催(於京都郊外太陽が丘競技場)  
本年第16回を迎える

### 2. Mr. Frederic William Strange の業績

- 1853年10月29日 英国生
- 1868年 University College School (現 London 大学) 入学
- 1875年3月23日 来日 英語教師  
東京大学他複数の学校で教鞭をとる一方、陸上競技、ボート、野球、フットボール等を紹介し普及に努めた。
- 1889年7月5日 日本で死去  
当時の日本政府は、欧米から近代的な産業・文明を導入すべく、多くの欧米人を招いた。Strangeはその一人であった。

### 3. 過去のオリンピック代表選手

- 1912年 スtockホルム大会に日本が初参加(2名出場)  
1名が東京帝大生の三島弥彦(みしまやひこ、短距離、100m、200m、400mに出場)  
もう1名が東京師範学校生の金栗四三(かなぐりしぞう)(マラソン、途中棄権)
- 1920年 アントワープ大会  
東大生の山岡慎一が100m、200mに出場
- 1924年 パリ大会  
東大卒の岡崎勝男が5000mに出場、予選2位、決勝は途中棄権。

### 4. 世界陸上選手権大会代表選手

- 2005年 第10回ヘルシンキ大会

東大卒の明石 顕（あかしけん） が 50 km競歩に出場、15 位  
明石 顕は、2007 年 第 11 回大阪大会でも 50 km競歩に出場し、16 位

#### 4. 現在の部員数

学部生	男子	138 名
	女子	8 名
大学院生	男子	35 名